

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	アナライズ2		
科目基礎情報						
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期		
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数		
単位数	1単位	開講時間		授業形態		
教科書/教材	配布資料					
担当教員情報						
担当教員	佐倉 繁	実務経験の有無・職種	有・作編曲家 プロデューサー			
学習目的						
音楽基礎クラス、音楽周辺クラスでの修得事項を統合し、作・編曲、トラック制作に必要なあらゆる事項を総合的に理解し分析することを目的とする。 1年次は4リズムセクションに関して徹底的に分析することにより修了制作における基礎を築くことになる。						
到達目標						
各セクションの分析をすることによりトータルな（4リズムセクションの）サウンドを構築できるようにすることを目標とする。 あらゆるジャンルにおける分析を行うことにより、独自のトラックを制作できるようになることを目標とする。						
教育方法等						
授業概要	基本情報を基に「それらの情報が音楽を形成する上でどのように機能しているか？」を楽器の実音体験、アンサンブル、他あらゆる観点から体感する。 音楽情報、音楽周辺情報、ノートテイクによる統合と活用。 レポート提出、プレゼンテーションによる具体的な実践も含まれる。					
注意点	ノートの取り方を工夫する。毎回のノート記録を累積して情報の整理を行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	レポート	0%				
	成果発表 (口頭・実技)	0%				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	4リズムセクション概要	4リズムセクションとは何かを理解する				
2回	ドラム・パーカッションパート①	楽器の構造、サウンド、機能を理解する				
3回	ドラム・パーカッションパート②	パターンを理解する				
4回	ドラム・パーカッションパート③	実演を通してドラムの機能・サウンド全体像の把握を目標とする				
5回	ベース①	楽器の構造、サウンド、機能を理解する				
6回	ベース②	パターンを理解する				
7回	ベース③	実演を通してベースの機能・サウンド全体像の把握を目標とする				
8回	ギター①	楽器の構造、サウンド、機能を理解する				
9回	ギター②	パターンを理解する				
10回	ギター③	実演を通してギターの機能・サウンド全体像の把握を目標とする				
11回	キーボード①	楽器の構造、サウンド、機能を理解する				
12回	キーボード②	パターンを理解する				
13回	キーボード③	実演を通してギターの機能・サウンド全体像の把握を目標とする				
14回	4リズムセクションアンサンブル	アンサンブルの方法論を分析し理解する				
15回	後期まとめ	通年での授業内容を振り返り修了制作に反映させる				